

# 市長が行く

No.5



茂原市長 田中豊彦

## 学校訪問を終えて

市長選挙に立候補した時の公約の一つとして学校訪問がありました。自分の目で教育の現場を見るが必要ではないかと考えたからです。茂原市には7つの中学校と14の小学校があります。9月に入ってから公務の合間をぬって一日3校くらいずつ訪問しました。そしてそれぞれの学校が抱えている問題を先生方からじかに聞かせていただき、また校舎や体育館、プールなどの施設を見せてもらい、本当に大きな衝撃を受けました。

まずはハード面ですが、ほとんどが築30年から40年たった施設ばかりですので、老朽化が進んでいます。雨漏りがひどい校舎や体育館、地盤沈下している校舎やプール、使えない消火栓、出入り口が一方所の男女トイレ、床がでこぼこした体育館、壊れたままの遊具など数え上げたらきりがあります。また地域柄ガスの発生している学校があり、危険と隣り合わせの日常にとても驚きました。耐震の面も大変心配です。

財政難の茂原市ではありますが、次代を担う子どもたちのために何とかしなければと強く思いました。安心して勉強ができる環境を整えてあげなくてはなりません。すぐに対処すべきこと、コストの面から中長期に対処せざるをえないことを良く見

極め、改善に努力していきたいと考えております。

次にソフトの面ですが、少子化の流れの中で、生徒数の減少から部活動も満足に出来ない学校があります。これに関しては学校の統合も視野に入れて考えていかなければならないかもしれません。

また小学校教育において、来年度から試験的に実施される英語教育に戸惑いを感じておられる先生が多いこともわかりました。今中学校では4人のALTがいますが、それを7人に増やし各校1人の配置にし、その先生を隣接する小学校に派遣したらと考えています。

授業については、それぞれに工夫を凝らし生徒の気持ちに配慮されていることがよくわかりましたが、そうした中でも、授業中に廊下に飛び出してしまいう生徒や不登校になってしまいう生徒など教育現場での問題点もなかなか改善されていない現実がありました。専門の指導員の必要性もありますが、あらためて家庭教育の大切さも痛感しております。

今回の訪問を終えているいろいろなことがわかりました。すぐにすべてのことが解決できるわけではありませんが、少なくとも今ある現実を市長が知ったということを一歩前進ととらえていただけたら嬉しいですよ。